

第26回塩田まつりにブース出展しました！

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年10月22日（日）に山口県防府市の三田尻塩田記念産業公園で開催された「第26回 塩田まつり」（主催：三田尻塩田記念産業公園保存会）に、ブース出展しました。

山口県防府市は江戸時代中期から昭和30年代まで、全国有数の塩の産地として栄えた町です。かつての塩田跡地にあるこの公園には、入浜式塩田の施設が復元されており、塩田作業の体験もできます。また塩づくりの道具類や、塩づくりの様子を紹介などの展示もされています。

この公園では、毎年、「塩田まつり」が開催されており、塩の釜たき実演や塩づくり体験、塩づくりに関するクイズなど、塩づくりについての理解を深めるためのプログラムが実施されています。

今回、このおまつりに、近隣の塩卸売会社である山口塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）及び当地にご縁のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）の協力のもと、ブースを出展し、パネルを使った「塩と暮らしのなるほどクイズ」を実施しました。

当日は、台風21号の接近により大雨に見舞われ、予定されていた多くのプログラムも中止となり、塩田まつりへの来場者も200名程度でしたが、その中で約80名の方にクイズに参加いただきました。

クイズの参加者には運動のリーフレット、マグネット等も配布し、塩のつくり方だけでなく、塩と暮らしについても、理解を深めていただきました。

雨天の
塩田公園



屋内で
クイズを
実施

参加者への
配布物

